

## 三重大学教育学部アセスメント・ポリシー

### (目的)

教育学部では、学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)で示された目標の達成度を評価し、それを基に目標への到達度をより高めるために、カリキュラム・アセスメントを実施する。

### (実施体制)

- 教育学部のカリキュラム・アセスメントの実施責任者は学部長とする。
- 教育学部のカリキュラム・アセスメントにおいては、教育学部運営委員会が総合評価を行う。

### (実施および分析方法)

- 教育学部のカリキュラム・アセスメントは、別に定めるアセスメント・チェックリストにより実施する。
- 教育学部のカリキュラム・アセスメントの総合評価は毎年実施する。
- 評価結果を参考とした教育改革の内容は公表する。
- 評価で用いたデータの取り扱いは、本学の関係規定に準じることとし、個人情報保護に努める。

教育学部 アセスメント・チェックリスト

教育学部の学位授与水準（DP）

三重大学教育学部は、学校現場における諸課題に対応できる実践的指導力を身につけた地域に貢献しうる教育人材を育成します。

教育学部は、次のような資質・能力を備えた人に対して、厳格な評価基準に基づいて学位を授与します。

DP1	（感じる力）教員に求められる使命や責任を理解し、幼児や児童生徒の心身の成長を支えることができる。
DP2	（考える力）教育に関する専門的な知識や技術に基づいて学級等を経営するとともに、授業等を計画・実践し、更なる改善点を考え示すことができる。 また、教育をめぐる諸課題を把握し、解決策を考え示すことができる。
DP3	（コミュニケーション力）子どもの多様性を認め、一人ひとりに配慮した教育を行うことができる。また、同僚、保護者、地域の人々と協同しながら諸課題の解決に取り組むことができる。
DP4	（生きる力）社会人としての教養や公正な態度、柔軟な思考を身につけ、地域社会の動向を踏まえながら、責任ある行動をとることができる。 また、自己研鑽の必要性を理解し、主体的・自律的に学び続ける意欲や態度を有している。

番号	名称	実施時期	周期	対象	内容、質問項目等	手法	評価者	結果の活用方法	実施者	
1	授業アンケート	7月、1月	毎年	1～4年生	・授業の満足度 ・授業の理解度 ・学習状況	質問紙（ユニバーサルパスポート）	学生	授業アンケートにおける学生からのコメントに基づき、授業改善を行う。	教育学部	教務委員会
2	授業アンケートへのコメント	7月、1月	毎年	授業担当教員	・授業アンケートへのコメント	ユニバーサルパスポート面談	授業担当教員	授業アンケートの結果に対して各授業担当教員がコメントを記入して公開し、授業改善の一般化を図る。	教育学部	教務委員会
3	成績評価	3月、9月	毎年	1～4年生	・成績の点検	履修指導時に点検する	授業担当教員 学生指導教員	成績をもとに各担任が履修指導を行う。	教育学部	教務委員会
4	達成度点検	3月、9月	毎年	1～4年生	・成績などによるDPへの取り組みの点検・評価	履修指導時に取り組みの達成度を点検する	学生の担任教員 学生指導教員	学生へのフィードバックや履修指導を行う。	教育学部	教務委員会
5	MCGBによる自己評価	随時	授業毎	学生・教員	・授業理解度や学習情報の記入	MCGBへの記入と面談	学生・教員	MCGBを利用して4つのDPに対する達成度やコメントの記入を求め、それをもとにした面談により学修状況と課題の把握を行う。	教育学部	教務委員会 教職支援センター
6	授業公開	随時	不定期	授業者	・授業の点検	授業公開	参観教員	参観者のコメントをもとに授業改善を行う。	教育学部	教務委員会
7	卒業生調査	3月	毎年	卒業生	・教員資質自己評価、カリキュラム、卒業研究の満足度	質問紙（メール）	卒業生	専門科目のカリキュラム改善を行う。	教育学部	IR委員会
8	教員育成指標「教員としての資質の向上に関する指標」自己評価	随時	毎年	1～4年生	・教員資質自己評価とDPに基づくカリキュラムの点検	質問紙（ムードル）	学生	専門科目のカリキュラム改善を行う。	教育学部	教職支援センター
	総合評価	4月	毎年	前年度の教学アセスメント全体	・前年度に実施した教学アセスメント	報告書	各該当委員会・講座	年間の教学アセスメントとその成果を総括する。	教育学部	運営委員会